



古南小の絆

令和4年4月6日発行
高松市立古高松南小学校

お子様のご進級・ご入学おめでとうございます。

校庭の桜の花も今が真っ盛りです。11日には、119名の新一年生を迎え、総勢713名の児童とともに令和4年度が始まります。新年度を迎えて、新しい先生や友だちと出会い、新たな気持ちで張り切っている子どもたちの気持ちを大切に、この1年間を充実した成長の年となるように教職員一同努力してまいります。

さて、本校は古高松小学校の児童数増加のために1980年に古高松小学校区の南西地域を校区として722名の児童とともに開校しました。2000年には311名まで児童数が減少しましたが、その後は増加に転じ、開校当時の児童数をまた超えそうです。その間、「心豊かに 自ら考え 行動できる児童の育成」を学校教育目標に掲げ、「なかまがいて、達成感があり、自信が深まる『楽しいと思える学校』」になるように努力してまいりました。本年は特に主体的に学ぶ児童の育成の1つの切り口として、外国語教育の充実をめざします。また、南海トラフ大地震に備えて地域の方とともに防災学習や防災訓練にも取り組みます。学校・家庭・地域がつながり合い、地域全体が『チーム古高松南』となって、本校の子どもたちが古高松南の郷土を誇りに思い、互いに支え合える素晴らしい人に成長できるように、本年も皆様方の温かいご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度 古高松南小学校 教職員一覧

※ 紙面配布しておりますので、HP上は割愛させていただきます。
代わりに、1階渡り廊下の西にある子象の像について紹介します。

「子象の像」

中庭に子象の像がある。これは、かつて栗林公園にあった栗林公園動物園に象の「ももちちゃん」を呼ぶきっかけになった児童の活動に対し、記念として「高松に象さんと呼ぶ会」より贈られたものである。(1984年)

この運動は、5年生児童が3分間スピーチで、栗林公園動物園の象の高子の死を取り上げたことに始まる。学級会でも議題となり絵や作文で「象を呼びたい」という気持ちを表し、全校生に署名を呼びかけたことがきっかけとなり、その輪が子どもたちから地域へと広がり「高松に象さんと呼ぶ会」がスタート、Tシャツやワッペンの販売等で募金を呼びかけ象を迎える運びとなったそうである。みなみっ子の先輩のパワーもすごいですね。

